

四国圏広域地方計画 中間とりまとめ(案)概要版

四国圏広域地方計画推進室

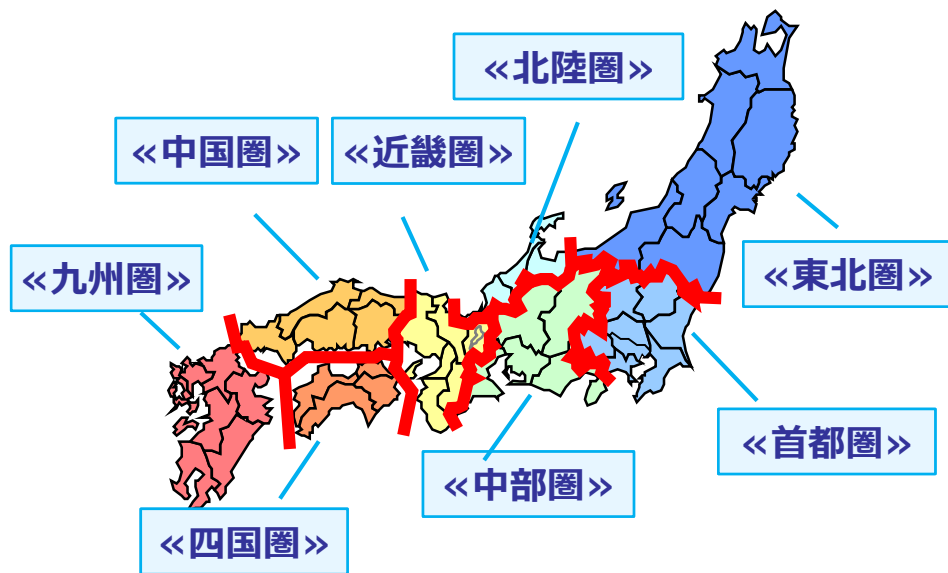
広域地方計画について

○国土形成計画（広域地方計画）は、国土形成計画法（昭和25年法律第205号）第9条に基づき、全国計画を基本として、広域地方計画区域ごとに方針や目標を定める計画（国土交通大臣決定）。

○広域地方計画区域は東北圏、首都圏、北陸圏、中部圏、近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏の8圏域。

※北海道、沖縄は別の根拠法に基づき、北海道総合開発計画、沖縄振興基本方針・沖縄振興計画を有する。

広域地方計画の区域



※北海道総合開発計画、沖縄振興計画とも連携して推進

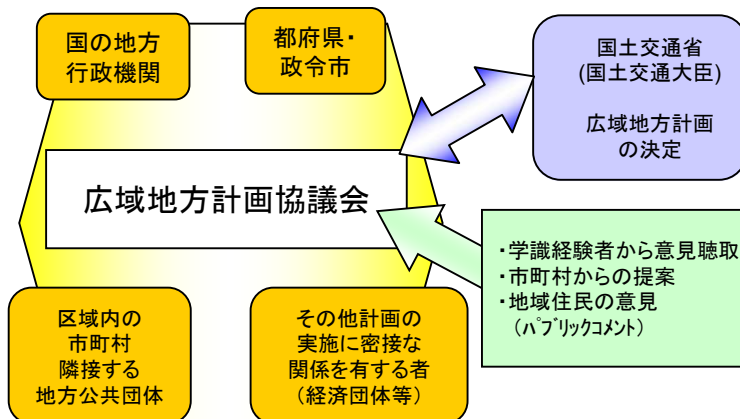
スケジュール

- ・ 昨年末(12/23の週)に、各圏域の広域地方計画協議会において、中間とりまとめ（素案）を公表。
- ・ 今年度末頃（令和8年3月頃）の国土交通大臣を目指す。

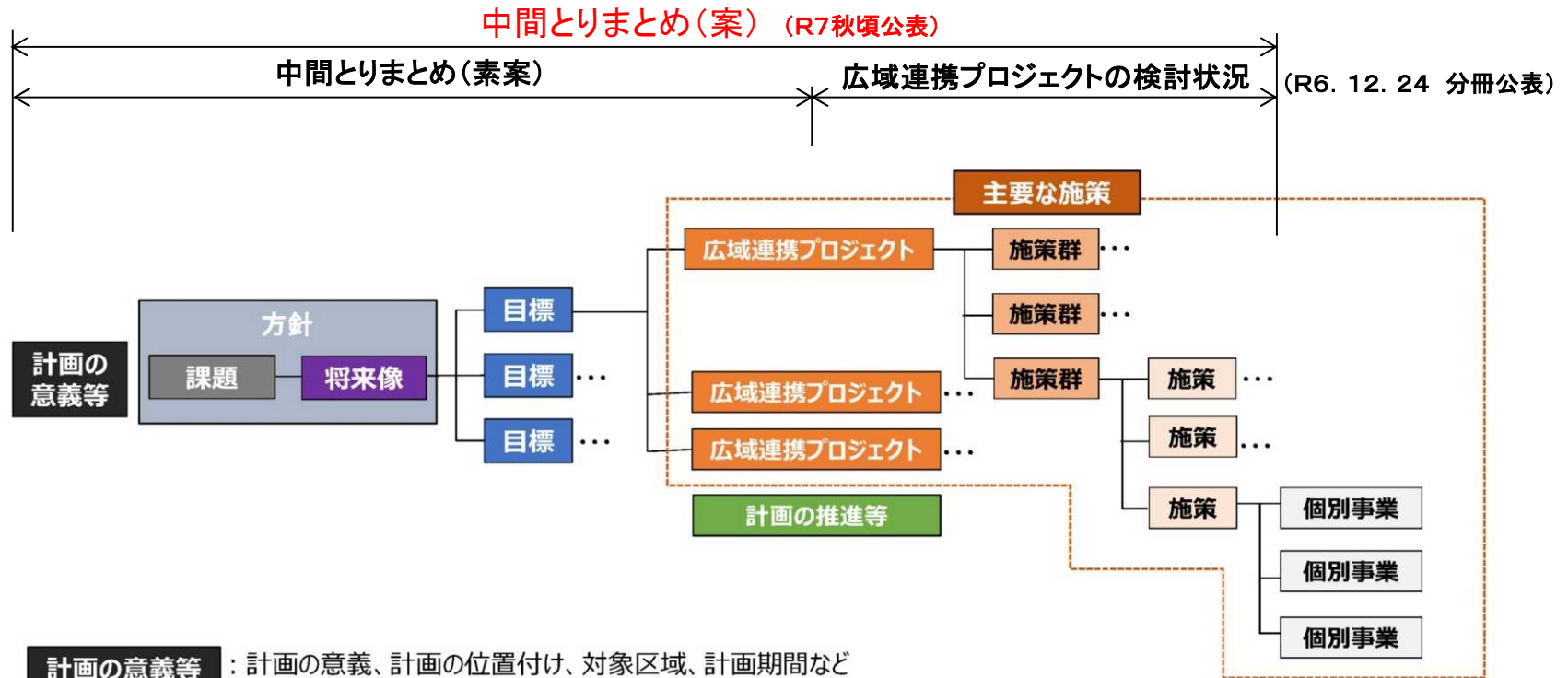
広域地方計画(国土形成計画法第9条)

○ 国と地方の協働による広域圏づくり(大臣決定)

- ・ 国、地方公共団体、経済団体等で広域地方計画協議会を組織
- ・ 計画の策定に向けて、各主体が対等な立場で連携・協力



広域地方計画の構成



計画の意義等 : 計画の意義、計画の位置付け、対象区域、計画期間など

課題 : 圏域の強み・弱み、取り巻く環境の変化等を分析した内容と、現況への対応方針

将来像 : 課題を踏まえて目指す地域の概括的な方向性

目標 : 将来像で示された概括的な方向性を分野ごとに具体化した、計画を通じて目指すべき目標

主要な施策 : 「目標」を達成するために、一の都府県の区域を越える広域の見地から行う必要がある主要な施策

広域連携プロジェクト : 目標を達成するために必要な広域性、戦略性、総合性、実効性の全ての性質を備えたプロジェクト

施策群 **施策** : 広域連携プロジェクトを推進するための、より具体化された取組が施策、それらを小見出しでまとめたものが施策群

個別事業 : 各主体が行う施策を構成する最小単位の事業

計画の推進等 : 多様な主体の参画・協働、他圏域との連携、他計画・施策との連携、計画の進捗管理など、計画の必要な事項

現状・課題

①南海トラフ地震に対する安全・安心の確保



②激甚化・頻発化する風水害への備え



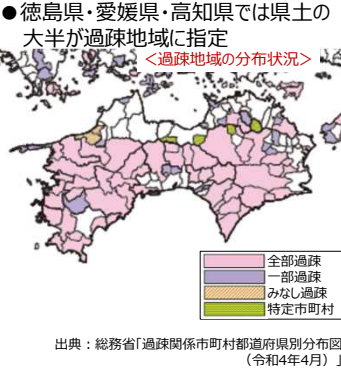
③急速に老朽化する社会インフラのメンテナンス



④2050年カーボンニュートラルの実現、生物多様性の保全・再生・創出



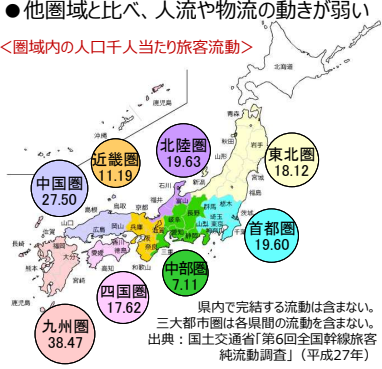
⑥持続可能な地域づくり



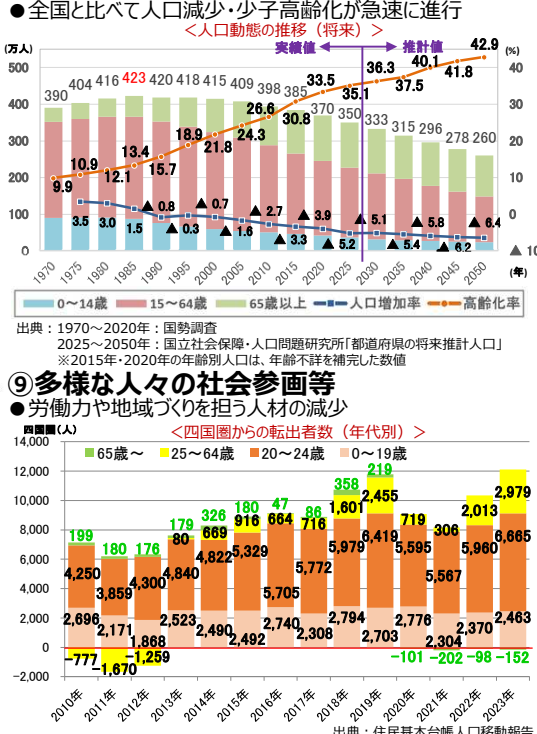
⑦四国圏の魅力・豊富な地域資源を活かした観光活性化



⑧国内外との交流を促進し対流を促す結びつきの強化

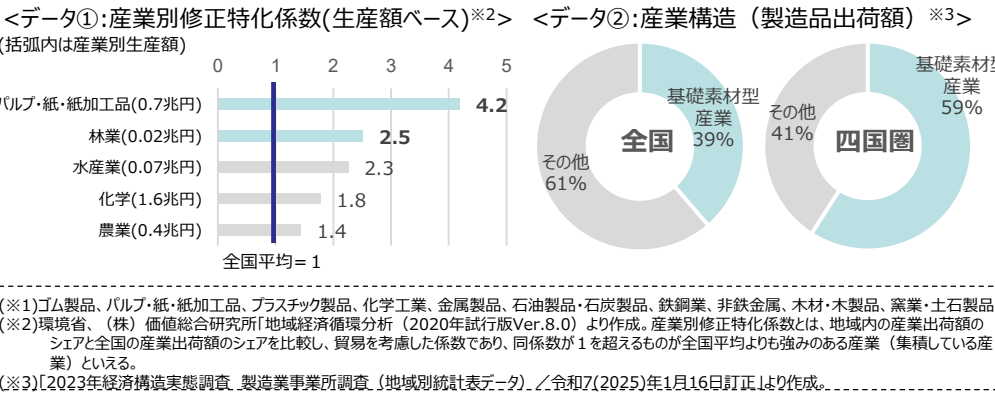


⑨深刻化する人口減少、少子高齢化への対応



産業等の強みを客観的に把握

- 四国圏域は、産業別修正特化係数(生産額ベース)(データ①)を見ると、「パルプ・紙・紙加工品」産業に強みを有している。
- 産業構造について、豊かな自然環境も活かし、木材、紙等の基礎素材型産業※1の製品出荷額のシェアが全国平均より多い(データ②)。



将来像・目標

四国圏の将来像

強くしなやかに自然と共生する安全・安心な四国

人と地域が混ざり合い新たな魅力を創造する四国

誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国

四国圏の目標

①南海トラフ地震や風水害に対応する安全・安心な四国

②気候変動対策や自然環境の保全・利活用により自然と共生する四国

③個性ある地域が連携して活力あふれる四国

④歴史・文化、風土を活かした交流・連携により人をひきつける四国

⑤多様性が尊重され、誰もが生き生きと活躍する四国

⑥地域産業の成長と創出により競争力を発揮する四国

広域連携プロジェクト

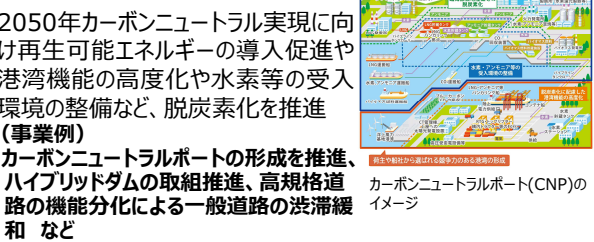
1.1 大規模自然災害への防災力向上



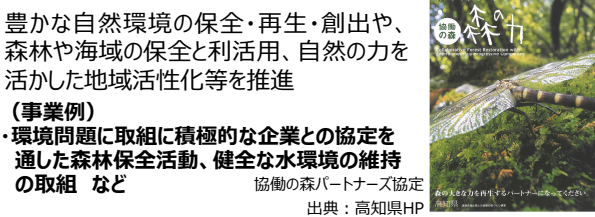
1.2 戦略的なインフラメンテナンス



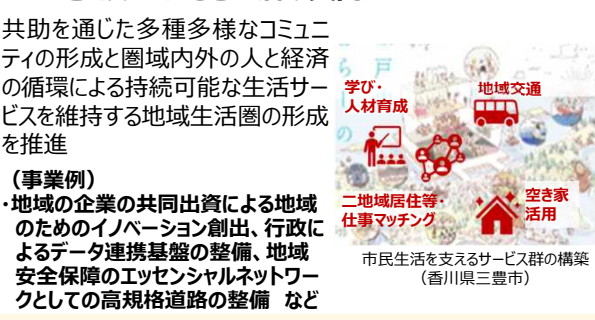
2.1 四国脱炭素



2.2 サステナブル四国



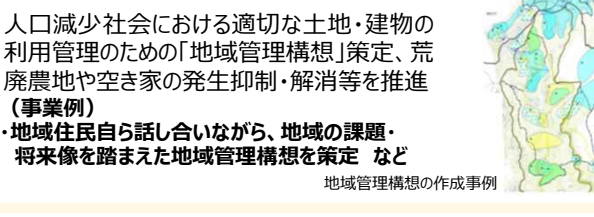
3.1 地域の豊かさや生活の質向上



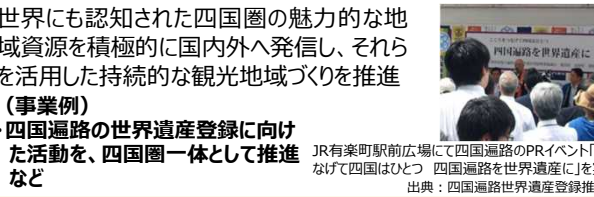
3.2 シームレスな四国を実現する交通・通信基盤整備



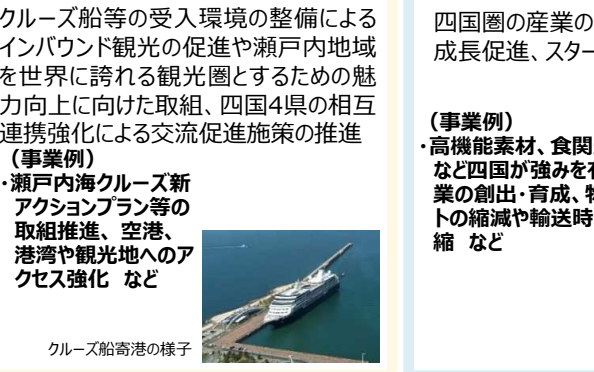
3.3 四国の土地・建物の利用・管理



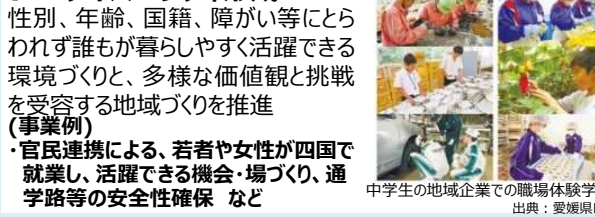
4.1 四国らしさを活かした持続可能な観光



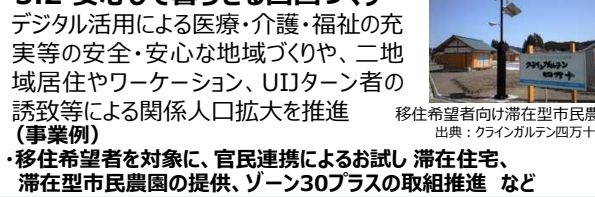
4.2 観光・交流促進



5.1 ダイバーシティ形成



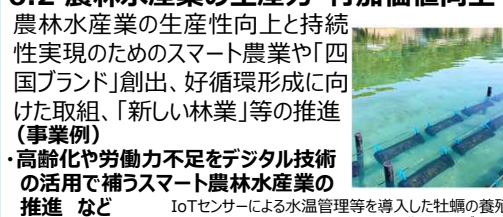
5.2 安心して暮らせる四国づくり



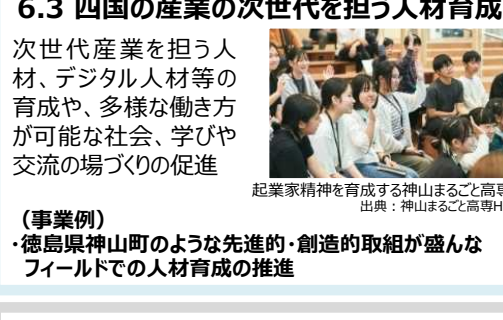
6.1 未来の四国を担う産業成長



6.2 農林水産業の生産力・付加価値向上



6.3 四国の産業の次世代を担う人材育成



7.1 他圏域との連携

